

研究課題名	近視矯正フェイク IOL の臨床成績と満足度調査
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	これまで、近視や乱視に対しては眼鏡やコンタクトレンズによる矯正が一般的であり、見え方の不具合や日常生活での不便さがあっても、我慢しながら生活されている患者さんも少なくありませんでした。しかし、有水晶体眼内レンズが登場したことで、新たな視力矯正の選択肢が広がりました。このたび、有水晶体眼内レンズを挿入された患者さんを対象として、術後 6 か月における視力変化や見え方の質、ならびに患者満足度について検討することを目的に、臨床研究を行うことと致しました。
研究対象者	2024 年 7 月から 2026 年 3 月までに府中アイセンターにて、同一術者により近視性乱視に対する屈折矯正手術として IPCL 挿入術を受けられた方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報：生年月、性別、レフケラ、裸眼視力(5m)、矯正視力(5m)、アンケート (QoV Questionnaire・Catquest-9SF)
研究予定期間	2026 年 7 月 4 日～2026 年 10 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院、府中アイセンターのみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	府中病院 府中アイセンター 副センター長 氏名：三島 壮一郎
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	府中病院 府中アイセンター 氏名：小谷 綾 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-90-5123（代）